

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 愛知県新城市立作手中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫<sup>※注1</sup>

☒ 中学校 ☐ 中高一貫<sup>※注2</sup> ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒441-1423

愛知県新城市作手高里字ブック田5番地

E-mail [tsukude-jh@city.shinshiro.ed.jp](mailto:tsukude-jh@city.shinshiro.ed.jp)

Website <http://www.city.shinshiro.ed.jp/tsukude-jh/>

幼児児童生徒数 男子23名 女子27名 合計50名

幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

本校は、「笑顔・真顔の元気な学校」を教育目標として、活力のある生徒の育成をめざしている。本年度は重点努力目標を「本気になって取り組む生徒・教師」とし、ESDの実践を核として取り組みを進めた。

具体的には、地域への貢献、異年齢集団での交流、地域の三宝を生かした活動を柱に、①地域行事への参加、②中高連携活動の推進、③地域理解に係わる学習を行った。

### ① 地域行事への参加

作手地区亀山城址を舞台に開催する「古城まつり」、作手地区の中心地で開催される「つくで祭り」。この2つの地域行事に、本校「作中和太鼓」の生徒も参加し、地域文化発信のために演奏活動を行った。また、地域福祉団体の要請に応じ、ボランティア生徒5名が、赤十字募金を呼びかける活動を行った。

## ② 中高連携活動の推進

本校は、平成22年度より、近隣の新城東高等学校作手校舎と連携型中高一貫教育に取り組んでいる。高校教員が中学校の授業に参加、中学教員が高校の授業に参加するほか、部活動、体育大会、文化祭、生徒作品展での交流や、椎茸栽培、環境保全活動などでの交流を行っている。その中でも、中心的な取り組みとなっているのが、作手地区の湿原の希少植物「サギソウ」の栽培活動である。サギソウ栽培は、高校の教員・生徒の指導のもと、3年間の計画で実施している。

- ・ 1年次＜交配、採種 培地づくり、播種＞
- ・ 2年次＜鉢上げ＞
- ・ 3年次＜開花、観察＞

## ③ 地域理解に係る学習

総合的な学習の時間を総合Ⅰ・総合Ⅱに分け、総合Ⅰでは、学年ごとのテーマに従って学習を進めた。

1年＝地域社会に生きる（林業体験をととして）

2年＝職業社会に生きる（職場体験学習をととして）

3年＝共生社会に生きる（地域防災を考える）

総合Ⅱは、全校合同で学習するもので、和太鼓、合唱、環境の3分野を設け学習を行った。

学習の成果は、11月の文化祭で保護者・地域の方を対象に発表を行った。



① 古城まつりでの和太鼓の演奏



② サギソウ栽培 1年次の播種



② サギソウ栽培 2年次の鉢上げ



③ 1年生林業体験 間伐材の運び出し

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

特になし
------

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

総合的な学習の時間 （各学年のテーマと学習のねらい）

- 1年:「地域社会を生きる」＝栽培活動や林業活動をとおして地域を知る。
  - 2年:「職業社会を生きる」＝地域の事業所での体験から将来を見つめる。
  - 3年:「共生社会を生きる」＝地域施設での交流から地域の将来を考える。
- 全学年をとおして、中高連携活動でのサギソウ・シイタケ栽培によって、地域の自然保護と地場産業への理解を図る。

学校行事

- 1年:オリエンテーション活動＝地域の文化、自然に触れる
- 2年:野外活動＝海での体験をとおして、地域のよさを見直す。
- 3年:修学旅行＝都会のくらしや産業を知り、ふるさとの発展に繋げる。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校運営機構の教務部の中に「ユネスコスクール・ESD教育」を位置づけている。担当者として教務主任を主任とし、各学年主任、英語主任を配置している。教務主任が教育課程全体を押さえ、学年主任が総合的な学習の時間での関連付けや授業での実施を行っている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

1 学期末と 2 学期末に生徒、保護者に対して学習及び生活に関するアンケートを実施して、教育活動の成果に関する評価を実施している。

2 学期末の保護者アンケートの「4 月から 2 学期末までで、お子さんが伸びたと思われることは何ですか」の問いに対して、保護者からは、学習意欲や学力、道徳心や思いやりの心、健康な体作りと体力の向上が主なものとして挙げられた。互いに関わり合う活動を展開したことで、バランスのよい生徒の育成が図られたと考えている。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

ESD に関する活動を行った際には、学校Webページに記事を書き、発信している。

学校Webページは毎日更新しており、記事を見ることで保護者は学校での活動の様子に興味関心をもち、記事をもとにした親子の会話が増えているという報告を受けている。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

11月4日(土)に開催した文化祭において、地域のさまざまな分野で活躍されている方を講師として招き、その方の技能を学ぶ「絆講座」を開設した。講師については、地域の活性化を目指す団体「作手を考える会」から紹介していただき、6つの講座で実技講習を受けた。

開設講座は、①ボルダリング体験 ②トマトを使った調理 ③蒔絵体験 ④苔玉作り ⑤茶道体験 ⑥国際交流 である。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

今年度実施はできなかったが、静岡県静岡市立玉川中学校との交流計画を進めている。交流内容は以下の3つである。

- ① 両校の学校新聞をメールで送付し合い情報を交換する。
- ② 夏季休業中に生徒による学校訪問を行い交流する。  
ソフトテニス・弓道・和太鼓
- ③ 研究発表会があれば案内を送付し、相互に参加をする。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

本校は全校生徒50名のへき地小規模校である。小学校からごく限られた人間関係の中で育ってきているため、コミュニケーション能力が低かったり、積極的に人と関わる力が低かったりする傾向にある。ユネスコスクールに関する活動において、高校生や地域の方々と交流することで、地域のよさを知り、進んで行事や活動に係ろうとする生徒の積極性が見られるようになった。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

地域の三宝（自然・文化歴史・人）を生かした活動

ア 中高連携事業によるサギソウや椎茸栽培の実施（人・自然・文化）

通年実施 3年間かけて全生徒対象

イ 林業体験学習（学校林作業）の実施（人・自然・文化）

7月実施 1年生

ウ 地区クリーンアップ作戦の実施（文化）

6月・11月実施 全生徒

エ 地区を巡る校外学習（作中ウォーク）の実施（自然・歴史）

11月実施 全生徒

オ 「古城まつり」「つくで祭り」への和太鼓の参加（歴史・文化）

5月・11月実施 総合Ⅱ和太鼓選択生徒

カ 緊急下校合同引渡し訓練の実施（防災・減災）

9月実施 こども園児・小学生・中学生・保護者

キ 静岡市立玉川中学校との交流（人・文化）

8月実施 ソフトテニス部・弓道部・和太鼓生徒